

関東同窓会報「うえだ」第 110 号を読んで

原田義則(3 組)



関東同窓会会報第 110 号が届きました。記念号と言うことで全 28 ページ、とこれまでで最多のページ数となりました（上原昇君(2 組)、丸山暢久君(4 組)、私が編集に関わって居た時は最大で 24 ページ）。写真は全てカラーで訴求力があります。普段は何の興味も示さない家内も興味を示し読んでいました。

今号には上原君による高見澤文雄君(8 組)出展の絵画展の記事、成澤文和君(4 組)による蕨の会（甲斐路探訪）の記事に加えて、最終ページ「うえだ人」には小林淳一君(11 組)が登場、と 65 期の関連記事が多く、興味深く読みました。

高見澤文雄君出展の絵画展に関しては本 HP に 3 月 5 日付で掲載されていますし、蕨の会の甲斐路探訪報告に関しても 4 月 16 日付で本 HP に掲載されていますので、私にとっては特に新しい情報ではありませんでした。また 65 期関連では、やまびこ句会で発表された好句の一つとして中山正光君(11 組、俳人前歩)の一句が掲載されています。

しかし、最終ページの小林君へのインタビュー記事には多くの情報が詰め込まれていて、氏の生い立ち、経歴、考え方を知る良い機会でした。実は小林君と私は仕事と一緒にしたことは無いものの、同期に 8 名(!)もいた日立製作所の従業員の仲間同士でした。特に二人は共に永らく研究所に居たこともあり、存在を知り共通の知人が何人も居たのですが、ずっと会う機会が無く、私が大学に転職する機会（2007 年 3 月末）で本社に退職の挨拶に行った時に卒業以来初めて(?)挨拶をすることができました。小林君も 3 月末で大学に移ると聞き、大いに驚いた記憶があります。因みに小林君は連合会館で 7 月 5 日に開催される松尾倶楽部の講演会（本 HP に 2025 年 3 月 28 日掲載）で講演される予定ですが、今から楽しみです。

尚、関東同窓会会報は、年 2 回（1 月と 6 月）発行されており、発行半年後には、関東同窓会 HP に全文が公開されます。過去分は全て PDF で閲覧可能ですので、そちらもご覧ください。

また、6 月 28 日に予定されている関東同窓会総会（+講演会+コンサート）への出席申し込みはがきも封筒に同封されていましたが、参加登録はネット経由でも行えます（切手代 85 円は掛かりません）。

尚、7 月 12 日(土) には上田東急 REI ホテルで**喜寿記念**の 65 期同期会が開催されます（本 HP5 月 20 日付記事参照）。多くの皆さんと会えることを大いに楽しみにしています。

2025 年 5 月 29 日 記